

上智大学の国際貢献

# アンコール・ワットの 謎に挑戦

上智大学学長 石澤良昭 講演会



鎌倉幕府が開かれる頃、インドシナではクメールの王たちが巨大な石の建造物を築いていました。アンコール遺跡修復・保存の先頭に立つ歴史家、石澤良昭は「アンコール・ワットの謎」に挑戦を続けています。

**10/30 (土)** 鎌倉商工会議所地下ホール  
鎌倉駅西口徒歩5分

午後2時 (開場午後1時半)

入場料 **¥1,000**

■お申込方法：事前に鎌倉ソフィア会事務局にEメールかお電話でお申込ください。ソフィア会会員に限らず、どなたでもどうぞ。先着順で定員になり次第、締め切りますのでお早めにお申込下さい。お申込の後、代金をお振込下さい。ご入金確認後、入場券を発送します。

■振込先：ゆうちょ銀行 10290-81281311  
ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振込は  
【店名】028 普通預金 8128131  
【口座名義】鎌倉ソフィア会

■お申込・お問合せ：鎌倉ソフィア会 事務局 担当：セキ

Eメール：[KamakuraSophia@gmail.com](mailto:KamakuraSophia@gmail.com) 電話：**0467-23-8556**

●主催：鎌倉ソフィア会 ●後援：鎌倉市教育委員会・逗子市教育委員会



## 石澤先生とアンコール・ワットとの関わり

1961年春、大学を卒業し就職も決まり、あとは入社式を待つみの何もすることのない休暇。石澤青年は大学の恩師、ポール・リーチ先生の呼びかけで、ふとカンボジアに旅をします。濃密なジャングルの中に聳える巨石の塔、800年の微笑を湛える仏たち、夕陽を浴びて踊りだしそうな女神たち。石澤青年はひと目でアンコール・ワットに魅了されます。もの言わぬ石の中の物語を知りたい！ 進路変更。就職を諦め、がむしゃらに勉強を始めます。石に刻まれた古代クメール語や梵語の解読法を学ぼうとパリ大学まで行って勉強を続けます。

しかし、カンボジアは1970年頃から平和ではなくなりました。政変が起こり、すさまじい内戦が始まりました。カンボジアの長い苦難が続きます。1980年、先生は地雷の危険も顧みず、西側の研究者として内戦後初めてアンコールに入ります。先生は衝撃を受けます。研究者仲間約36人が行方不明になり、再会できたのはわずかに3人だけでした。若くして無念の死を遂げた人たちへの鎮魂の思いが先生の胸に宿りました。孤児たちが物乞いをする遺跡の村で先生は考えました。「カンボジアの人と共にカンボジア復興の力になりたい。自分にできることは何か」。

その答えは「カンボジア人による、カンボジア人のための、カンボジアの遺跡保存修復」でした。内戦の間、遺跡は放置され、大きく痛んでいました。このままにしておくことはできません。アンコール・ワットはカンボジアの至宝であり、人々の心の拠りどころです。カンボジア人自身の手で修復保存することが最善です。1991年、石澤先生は上智大学に遺跡保存人材育成プロジェクトを立ち上げ、カンボジアの学生たちと研修を始めます。熱帯の暑さに苦しみながら、重い石を持ち上げ、固い地面を掘りました。今ほど支援体制もなく、私財を投げ打っての孤軍奮闘でした。地道な活動はじわじわと世に知られ、今では支援の輪はぐんと広がっています。石澤先生が苦闘の中から生み出した「人と人の信頼による遺跡修復保存」は上智大学の枠に留まらず、新しい国際協力のあり方を示すものとして広く注目されています。

私たち鎌倉ソフィア会は普段は会員対象の集いを開いていますが、今回の講演会はたくさんの方の方においでいただけるよう一般公開にいたしました。皆様のご来場をお待ちしております。「アンコール・ワットは問いを投げかける」と先生は語ります。その問いの奥に迫るお話が楽しみです。

鎌倉ソフィア会事務局 関美江子



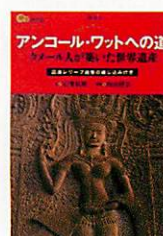
## 石澤 良昭 (上智大学長) 略歴

1937年生まれ。上智大学外国語学部フランス語学科卒。専門は東南アジア史・文化遺産学。鹿児島大学教授等を経て、1982年より上智大学教授、2005年から現職。上智大学アジア人材養成研究センター所長、上智大学アンコール遺跡国際調査団団長。2007年2月より2年間、文部科学省文化審議会会長も務める。文学博士。

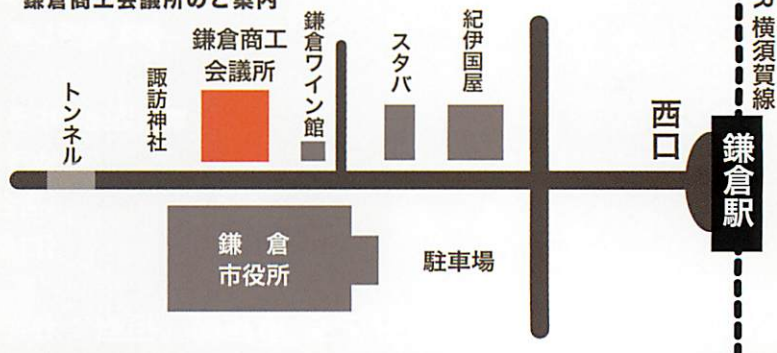
アンコール・ワット時代の碑刻文研究(石に刻まれた文字の解読)を中心として、50年近くにわたりアンコール遺跡調査・研究に従事。1991年からは「カンボジア人による、カンボジア人のための、カンボジア文化遺産保存・修復」を掲げ、現地にアジア人材養成研究センターを建設し、遺跡を守る人材を養成中。2001年にアンコール・ワット近くで発掘した274体の仏像は、これまでの学説を塗り替える大発見となった。2003年国際交流基金賞、2007年カンボジア王国シハモニ国王陛下よりサハメトリ章(大十字勲章)親授。2007年11月に274体の仏像を展示する「シハヌーク・イオン博物館」をイオン(株)の援助により現地に建設、同時にアンコール・ワット西参道第一工区完成。主な著書は、『アンコール・王たちの物語』(NHK出版)、『アンコールからのメッセージ』(山川出版)、『アンコール・ワットの時代』(連合出版)、『東南アジア多文明世界の発見』(講談社)など多数。

## 石澤 良昭 主要著書

- ・グローバル/ローカル〜文化遺産  
上智大学出版 2010年
- ・東南アジア多文明世界の発見  
講談社 2009年
- ・アンコール・ワットへの道  
JTBパブリッシング 2009年
- ・東南アジアの伝統と発展(世界の歴史13)  
中公文庫 2009年
- ・アンコール・ワットの時代  
連合出版(共訳) 2008年
- ・この人この世界「NHK知るを楽しむ」テキスト  
日本放送出版協会 2007年
- ・アンコール・ワットを読む  
連合出版 2005年
- ・アンコールからのメッセージ  
山川出版社 2002年



## 鎌倉商工会議所のご案内



鎌倉ソフィア会は上智大学卒業生の鎌倉地域同窓会です。